

九条の会ニュース

No.3

2005年3月24日

発行：「九条の会・きしわだ」(仮称)

事務局 岸和田市教職員組合内

岸和田市沼町25-15

電話 22-4876 Fax. 23-3171

戦争しない日本を堅持

三木 睦子



やはり自民党の中にたった一人でも三木武夫がいたほうが憲法9条を守れるのかなと思います。

年寄りが必要な声を上げるという筋合いのものではないのかも知れませんが、でも一人でも憲法を何とかして守りたい。軍隊を外国へ出したり、戦争したりしたい人がある以上、たとえ年寄りでも、それに抗って何とかしなければいけないと思うのです。日本はもう戦争はしないんだという決心を、何とかみんなに知ってもらわなければならないと思います。水害や災害の被災者を助けるのが自衛隊。なにもイラクまで行く必要はないのです。…どうか武器を担いで海外へ行かさないですむように、皆さんのご賛同を仰ぎたいと思っております。

三木武夫記念館長

憲法9条を 変えないでください

日本国憲法は、いま、大きな試練にさらされています。……日本と世界の平和な未来のために、日本国憲法を守るといふ一点で手をつなぎ、「改憲」のくわだてを阻むために、一人ひとりができる、あらゆる努力を、いまずぐ始めることを訴えます。」と、昨年六月、著名な方九人(井上ひさし氏、梅原猛氏、大江健三郎氏、奥平康弘氏、小田実氏、加藤周一氏、澤地久枝氏、鶴見俊輔氏、三木睦子氏)が呼びかけて「九条の会」ができました。戦後六〇年、日本は戦争をしませんでした。戦争で人を殺すことも、殺されることもありませんでした。「憲法九条」があるからです。戦争は、悲しみと憎しみを生みだします。「一人ひとりの生命が大切にされ、子どもたちの瞳が、がやく世の中に」の思いを憲法九条に託しましょう。

九条の会・きしわだ(仮称)

呼びかけ人

- 眞鍋 積
- 松井 幹治
- 福井 利彦
- 平松 繁信
- 西本 徹
- 中塚 鞠子
- 須田 利一
- 岸田 正昭
- 久禮 信夫
- 赤星 伸一
- 神崎 清
- 泉光寺住職

「九条の会・きしわだ」
スタートの集い
4月2日
マドカホール
(土)
午後1時30分



お話し 「平和と生命の大切さ」
元米海兵隊員・ベトナム帰還兵
アレン・ネルソンさん

Allen Nelson

スタートの集い 参加協力券 (当日お持ちください)

名 前	
住 所	
電 話	

※当日、参加協力・資料代として500円お願いいたします。(高校生以下は無料です)

日本国憲法は世界の目標

- 1999年オランダのハーグ(1万人)世界平和市民会議
各国議会は日本の憲法九条のように戦争放棄決議を採択すること。
- 2000年ミレニアム・フォーラム
「平和、安全保障、軍縮」グループの報告
全ての国がその憲法において日本国憲法第九条に表現されている戦争放棄原則を採択することを提案する。
- チャールズ・オーバービー オハイオ大学名誉教授
「九条の会」を米国でつくる。「九条は全人類へ未来からの贈りものである」「九条にノーベル平和賞を」
- エドワード・W・サイド (フランスの比較文学者・思想家)
日本の平和憲法は、世界の目標だ。改定されるなら悲劇だ。
- 韓国「平和を創る女性の会」
ジョン・キョラン国際連帯委員長
日本の憲法九条は、みなさんの誇るべき宝。憲法九条を広げることは、世界平和にとって重要です。

コラン・ベイユ法律家
「日本は国連憲章に即した憲法を持っていることを世界に誇ることが出来ます」「日本の憲法は他国民に対してひとつの模範なのであり、それを放棄することは他国民に対して犯罪的な事だと言ってもいいでしょう」「この憲法に疑問を付することは実際には野蛮な世界への逆もどり」

